

# ふるさと 資料紹介

= ⑥2 =

## 史料と地名からみた

### 地区の歴史⑬

#### 蜂屋（四）

蜂屋と伊深をつなぐ県道の宝仙坊トンネルは、一九六二年に貫通しました。

トンネルの上には三本の大きな杉の木がそびえています。中蜂屋・池奥地区など各方面からの道は、かつては尾根沿いに走り、ちようどこのあたりで交わっていました。

この杉の木の下の祠には、「為宝泉坊菩提…」と刻まれた地蔵がまつられています。江戸時代の中ごろに、旧広橋村によって

建てられたものです。

トンネル名の「宝仙坊」は、この「宝泉坊」に由来します。宝泉坊とは、中世から近世にかけて、このあたりを活動の拠点としていた修験者（山伏）の名です。「宝泉坊」は、のち「宝仙坊」とか「法仙坊」など、別の字をあてて使われるようになりました。

今回は、次の方から貴重な資料を寄贈いただきました。ありがとうございました。

（平成八年七月分）

○大櫃（飯を入れる器）など  
四点（木村元治さん／山手町）  
計画中の博物館建設のため、現在いろいろな資料を収集しています。文化課（文化会館内／内四〇八）まで情報をお寄せください。



▲宝仙坊トンネルの上に残る杉の木と祠